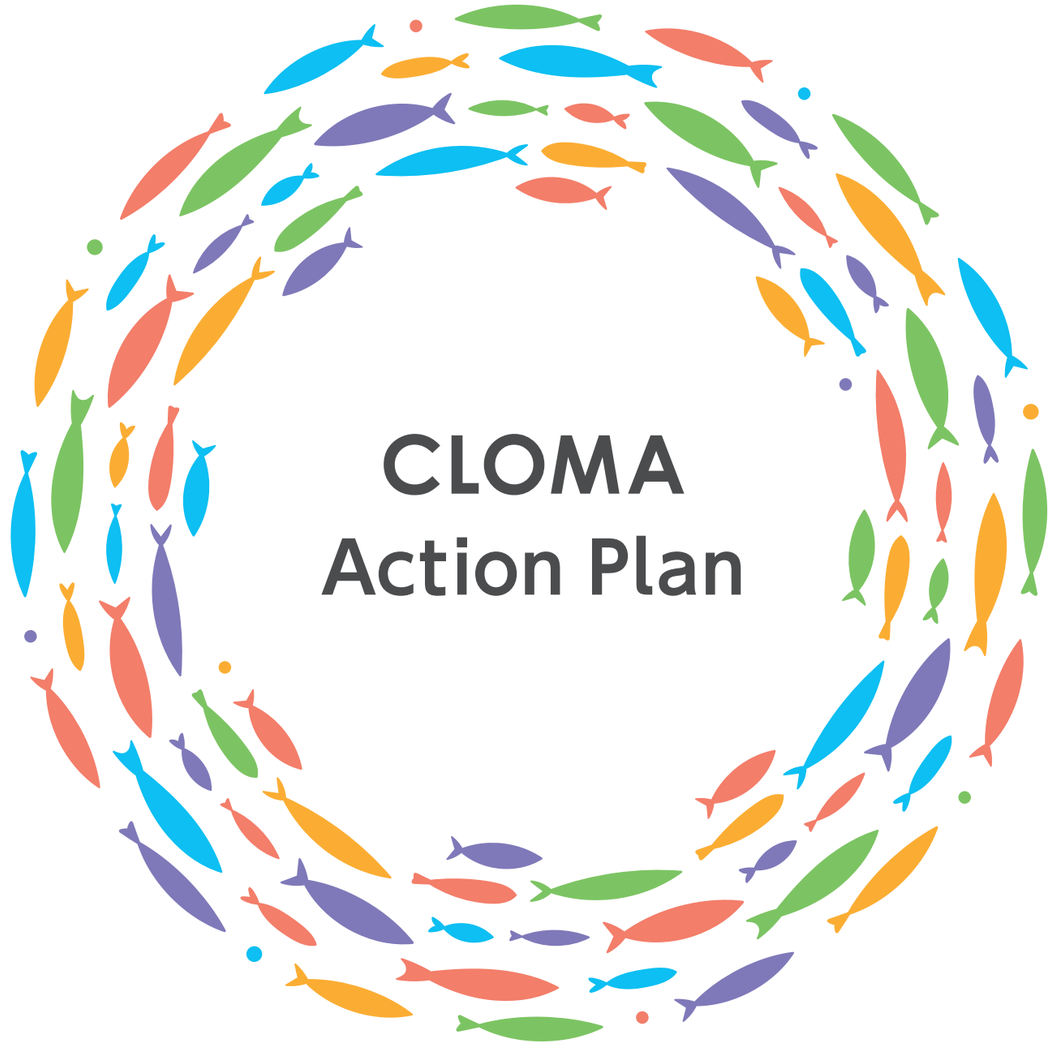
CLOMA

CLOMAとは

2019年1月、一般消費者向け商品のサプライチェーンを担う企業が中心となり、クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンスCLOMAを設立しました。海洋プラスチックごみ問題の解決に向けては、既に滞留しているプラスチックを回収するとともに、新たに流出させない取り組みが必要となります。CLOMAでは、日本の産業界がこれまで培ってきた技術やノウハウを持ち寄り、官民連携で3Rと代替素材のイノベーションを加速し、プラスチックの循環利用を徹底することで、消費者や社会とともに海洋に流出するプラスチックごみのゼロ化を目指す日本発のソリューション＝ジャパンモデルを世界に発信していきます。

発行　クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス　CLOMA事務局
〒101-0044　東京都千代田区鍛冶町二丁目2番1号　三井住友銀行神田駅前ビル7F
（一般社団法人産業環境管理協会内）
2020年9月 初版発行

本書に記載の文書、図表、写真等の無断複製、転載を禁止します。



CLOMA Action Plan

容器包装等のプラスチック製品100％リサイクルを目指す

CLOMA アクションプラン

ごあいさつ

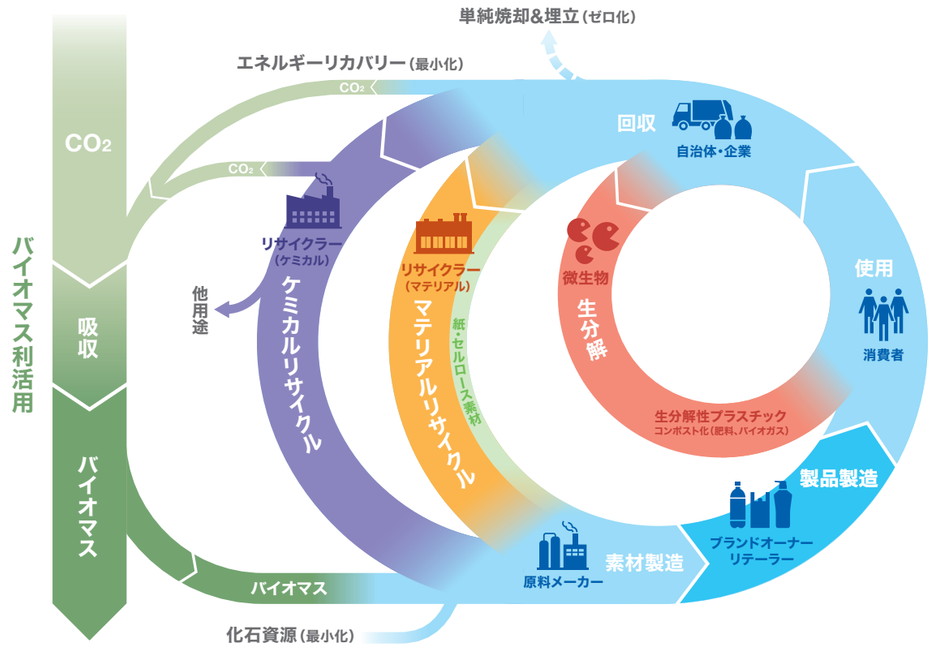
CLOMAはこの度、CLOMAアクションプランを始動することといたしました。
会員社、行政、NGO、大学、工業会等の様々な団体、そして消費者との連携により、早く社会実装化できればと考えております。このような試みは日本での先駆けとなるだけでなく、世界の見本となるような取り組みであると考えています。一緒にチャレンジしていきましょう。

CLOMA会長　澤田道隆

キーメッセージ

CLOMAは海洋プラスチックごみの削減に貢献するため
2050年までに容器包装等のプラスチック製品100％リサイクルを目指します。

■ プラスチック製品100％リサイクルの概念図



■ 5つのキーアクション

	2020	2021	2022	～2030	～2050
				容器包装 60％リサイクル達成	プラスチック製品 100％リサイクル達成
Key action 1 プラスチック使用量削減	サプライチェーン（物流、販売等）の変化、ライフスタイルの変化への対応 リサイクル視点の仕様設計 新素材・構造のイノベーション	設計基準の 標準化（新たな容器 包装の設計）	グローバル展開	化石資源由来のバージンプラスチック25％排出抑制 25％	
Key action 2 マテリアルリサイクル率の向上（飲料PET／その他）	自治体・流通との分別回収テスト（消費者の動線に着目） 複合素材・汚れ対策検討		新たな分別回収システムの社会実装 PET設計基準のグローバル展開	回収率100％リサイクル最大化（有効利用率100％） 飲料PET 100％ リサイクル率60％（単純焼却ゼロ/埋立ゼロ） その他 60％	
Key action 3 ケミカルリサイクル技術の開発・社会実装	ケミカルリサイクルの位置づけ クローズドループモデルの提案	実装に向けた連携・体制づくり 現設備やコンビナート地域等の設備の可能性探索	地域・自治体限定で実証（元製品と同じ用途へのリサイクルを志向）		最大活用
Key action 4 生分解性プラスチックの開発・利用	新規用途探索（食品包装材、農林水産業資材等） 既採用用途でのシェア拡大対策検討 既存コンポスト設備による実証テストと資源性評価	新規用途の順次製品化 対策実行と効果の確認 → 採用事例とシェアの拡大 個社での設 備導入、自治体・法人等への導入の提案		バイオマスプラスチック200万t導入の一翼を担う 200万t	
Key action 5 紙・セルロース素材の開発・利用（代替素材／リサイクル）	素材・複合化技術開発（リサイクルを考慮） 使用済み紙容器回収・リサイクルシステム立案（分別・破砕・洗浄・パルプ化・廃プラ処理） 自治体・流通との分別回収テスト	市場投入（軟包材、食品容器等）	ラインナップ拡充（国内定着 → アジア展開） 小規模テスト → 社会実装	代替素材 10万t/年 10万t	代替素材 100万t/年 100万t

リサイクル：マテリアルリサイクル（再製品化）とケミカルリサイクル（原料・モノマー化）／ プラスチック製品：容器包装、カトラリー、漁具等